



◇一般社団法人 地域づくり支援機構 2025 年度定時総会の報告

堀越 正夫(地域 P&C 第 3 期/専務理事・事務局長) ……………1 頁

◇第 17 回地域づくりシンポジウムを終えて 若林稔 (地域 P&C 第 5 期生/地域 P&C 養成塾塾長) ……2 頁

◇卒塾後も続く心のつながり 若林稔 (地域 P&C 第 5 期生/地域 P&C 養成塾塾長) ……………3 頁

◇第 17 回地域づくりシンポジウム講評 村田武一郎(理事長/地域 P&C) ……………4 頁

**一般社団法人 地域づくり支援機構 2025 年度定時総会の報告**

堀越 正夫(地域 P&C 第 3 期/専務理事・事務局長)

去る 6 月 7 日(土)、今井地区公民館(講堂)において、「一般社団法人地域づくり支援機構 2025 年度定時総会」を開催いたしました。以下のとおり、総会は成立し、議案は可決されましたので、ご報告を申し上げます。

**1. 総会の成立**

総会は、正会員 66 名に対して、出席会員数 48 名(本人出席 15 名、委任出席 23 名)と過半数の出席により成立いたしました。

**2. 総会議案議決について**

- ①第 1 号議案 2024 年度事業報告並びに収支決算承認の件:本件は、原案どおり承認可決されました。
- ②第 2 号議案 2025 年度事業計画並びに収支予算承認の件:本件は、原案どおり承認可決されました。
- ③第 3 号議案 役員選任の件:本件は、原案どおり承認可決されました(下表参照)。

役職名	氏名	資格	備考
理事長	村田 武一郎	地域プランナー・コーディネータ	奈良フェニックス大学学長
副理事長	井ノ本 直三	地域プランナー・コーディネータ	
専務理事	堀越 正夫	地域プランナー・コーディネータ	事務局長
理事	野口 隆	地域プランナー・コーディネータ	奈良学園大学特別客員教授
理事	大塚 徹	地域プランナー	渉外部長
理事	北森 義卿	地域プランナー・コーディネータ	地域 P&C 養成塾
理事	吉田 遊福	地域プランナー・コーディネータ	
理事	今西 弘子	地域プランナー・コーディネータ	
理事	若林 稔	地域プランナー・コーディネータ	地域 P&C 養成塾塾長
理事	中谷 みさこ	地域プランナー・コーディネータ	
理事	神 剛司	地域プランナー・コーディネータ	地域 P&C 養成塾
理事	中辻 孝之助	地域プランナー・コーディネータ	地域 P&C 養成塾
理事	吉井 辰弥	地域プランナー・コーディネータ	
理事	原田 弘之	地域プランナー	地域 P&C 養成塾
監事	高岡 宏芳	地域プランナー	
監事	村上 秀夫	地域プランナー・コーディネータ	
顧問	木村 衛	地域プランナー・コーディネータ	
顧問	石井 重徳	地域コーディネータ	

※役員改選において、立松麻衣子理事が退任されました。



休憩をはさんで、奈良フェニックス大学の2チームのプレゼンテーションは、齢を重ねてきたからこそその着眼が活きた、興味ある内容でした。

地域P&C 養成塾17期生の4名のプレゼンテーションについては、受講期間後半の足並みの不揃いの中で、発表資料を模索していた姿を見てきた私は、「よくやった！」と褒めてあげたい気持ちでいっぱいになりました。

ご参加くださったのは約60名で、橿原市副市長をはじめ、現地研修を引き受けてくださった地区の代表の方々などで、地域づくり支援機構会員の参加数を上回る数でした。そして、ほとんどの方が続いて行われた交流会にまでお付き合いください、ありがたいことでした。



なお、現在、次期18期生の募集に東奔西走中です。この回顧録もあわただしい中で書いています。18期生を推薦して下さる方、よろしくお願ひ致します。

### 卒塾後も続く心のつながり

若林稔(地域P&C 第5期生/地域P&C 養成塾塾長)

地域P&C 養成塾をお預かりして、今年も1年間、塾運営に関わってきましたが、塾生はいつも不安感をもって入塾してきます。その不安感をもつ塾生たちが、ある日突然、目が輝き始めるのです。自分の居場所が見つかった時に生き生きとし始めるのです。

輝き始めた塾生たちは、その日からマイナスの言葉が消え去り、どんどんプラスの発言が飛び出していきます。気持ちが踊り始めているのが見えてきます。

ところが、今年はその気配が終盤に来ても見えてこないのです。見せてくれないのなら見に入っていこう、これが私のやり方で、ズカズカと心の奥に入らせてもらい、その塾生たちがもっている良いところを探しを始めました。

みんなもっているのですよね！ 良いところを！ しかし、みんなそれに気づいていないのです。それどころか、むしろ自分の欠点だとさえ思っている塾生も多いのです。その塾生がもっている変なところは、案外大切なものであることが多いのです。しかし、多数決をとれるものが正しいとした教育のあり方に馴染んでしまっていて、こんな変わった考え方は私一人だけだからダメなのだ、人と同じことができない私は変だ、と思いつ込んでいることが多いのです。



多数決をとることが続いて、その結果、過疎が生まれたり、核家族が生まれたり、開発の名のもとでの宅地造成が進み、3Kと言われる職業が忌み嫌われたり、全く変な方向に日本丸は走り続けてきました。

このような社会の中で、この塾では、事業はこうしてやるのだとか、農業は？ 経営とは？ ということは教えません。というより、教えられません。この塾は人材養成塾なので、その人がもっている長所を伸ばし、地域を良くする意欲を芽生えさせることができたら、それぞれの地域の特長を活かせるお手伝いができる人材として地域に送り出すことができると信じて、それを目標にしています。

16期生から活発になってきた現地研修は、今期の17期生も、御所市、田原本町、川上村、下北山村が現地対

応をしてくださって、赤裸々な実態を教えていただきました。川上村、下北山村では、昨期の黒滝村と同様に鹿害のことを話してくださいました。そして塾の卒業生たちがいる地区では行動を共にしてくれ、講師を務めてく



れもしました。

これまでも、今回も、人前で思うことが話せなくなっている塾生、大きな声を出せなくなった塾生、懐疑主義に近い塾生、ぶっきらぼうに否定的なことしか言えない塾生、あまりにも世間を見ていない塾生などを見てきました。

でも、一人ひとりと会話を重ねていくと、本人が社会通念を知らないか、同意できずの結果の行動であることがほとんどでした。

そんな時は、卒塾後も絶えず追跡して様子を見続けていると、

好転していくことが多いのです。そのために、卒塾後の人たちとの交流を深めて、時々情勢を聞かせてもらうことに努力しています。

今年の4人にも、卒塾してからもまだ塾生だと思って、私のおせっかいが続いていて、次期18期生を一人紹介してくれた塾生もいます。そして、ほかの塾生は、地域に入り込んで活動して、友だちに地域P&C養成塾でのことを話し込んで、関心を高めてくれています。入塾につながってくれたらうれしいです。

## 第17回地域づくりシンポジウム講評

村田武一郎(理事長/地域P&C)

第17回地域づくりシンポジウムを、皆さまが、最後までお聞き届けくださったこと、ありがたく存じます。「誰ひとりとして居眠りをされていなかった」ことは、刺激的なプレゼンテーションであったことの証左です。ご出演の皆さま、ごろうさまでした。

### 1. 基調講演～クロストーク～

山中淳史氏×スカルディノ・エバン・ウイリアムズ氏 モデレーター:地域P&C 養成塾長若林稔氏  
時間軸上のつながり(ものづくり、文化、生活文化など)、空間軸上のつながり(空間を超えての人と人とのつながり)について、様々な話題が飛び交い、楽しい時間でした。アメリカ社会と日本社会の違いなど、刺激的な知見も得られました。

### 2. 奈良フェニックス大学地域研究科プレゼンテーション

#### ①近藤登氏「私たちの高齢者支援活動」

公共サービスが縮小されていく中、「その人らしく生きる」ことを支援されているメンバーにエールを贈ります。年間1,400時間近い高齢者支援活動はすごいことです。このすばらしい活動が県内各地域へと広がることを期待します。

②米田千代子氏「地域のことを知り楽しい里山をつくる」

休耕田を活用し、地域の方々・子どもたちに、土・作物とふれあう機会を提供されています。「地域の方々と協力し、楽しみ、つながりを深め、魅力的で住みよい地域をつくる」ということに期待しています。

3. 第17期地域P&C養成塾生プレゼンテーション

①三宅竜紀氏「獣害とサッカー」

獣害、特にシカによる害について学び、対策について、自分が好きなサッカーと組み合わせて考えてくれました。今後、実効性がある提案へと進んでいくことを期待します。

②八尾日都美氏「私にも特技があったんだ！」

「自分の周りの人に一人ずつでも喜んでもらえる、それが増えて広がれば、心の豊かさにもつながる」と、重要な学びについて語ってくれました。今後を期待します。

③栗田静香氏「過疎のまちで創る共鳴の場」

「最初は一人で始めた居場所づくりが、知らぬ間につながる場、共鳴の場“みんなの拠点”に変わっていった」とのこと、すばらしい。今後とも続けてください。

④山田清香氏「森の窓口」

「木は、それぞれに生きてきた生命を一度断ち切って、私たちのもとにやってきます。その木たちに再び違う命を与えていくのが私の仕事」という言葉が印象的でした。木への思いやりがある、すばらしい作品づくりを続けてください。

参加くださった自治体首長の方々、議員の方々、自治体の地域づくり関係部局の方々、地域づくり団体の方々、一般参加の方々に御礼を申し上げます。また、地域P&C認定後に各地域で積極的に活動されている方々に感謝するとともに、今後のさらなる地域発展への貢献を期待します。そして、本日まで参加の皆さまのご発展・ご健勝を祈ります。